

# 南小だより 2月

1年生が教室の前に植えたチューリップの芽がだんだんと育ち、5cmほどになりました。外はまだまだ寒いけれど、土の中に根を張り、養分をとって成長しています。あと2ヶ月もしたらきれいな花を咲かせることでしょう。その頃には、6年生は中学生となり、真新しい服に身を包んで、新たな場所で生活や学習を始めます。1年生から5年生は次の学年に進級し、新しい目標に向かってチャレンジが始まります。今は次のステージにジャンプするための力をしっかりと蓄えておいてください。

月に数回、香川県教育委員会発行の「ハッピー子育てひろば」という文書を長子に配布しています。筆者は、香川大学医学部小児科専門医の鈴木裕美先生です。子育てを科学的な見地から説いてくれており、読み応えがあります。2月は、「愛着」がテーマでした。子どもたちの、チャレンジや冒険する勇気、人間関係を築くもとなるのが「愛着」です。愛されているという安心感、必ず助けてもらえるという信頼感があれば、子どもは自ずとがんばれます。環境が変わるこの時期こそ、「大丈夫だよ。」というメッセージが必要です。子どもが自信を持てる声かけをみんなでしていきましょう。



40周年を迎えた私たちの学校 (5年児童作品)

## 風船が運んだセレンディピティ

11月のバルーンリリースでメッセージを拾ってくださった方が、牟礼南小を訪ねてくださいました。大阪府在住の色鉛筆画家、越野 周さんです。越野さんは奈良県でメッセージが書かれた紙片を拾われ、すてきな絵と手紙を送ってくれました。その後、児童代表がお送りしたお礼の手紙に感激され、わざわざ学校を訪ねてくれることになったのです。当日は、代表の子どもたちの質問に丁寧に答えました。風船が思わぬ出会いを運んでくれました。

### 2月の生活目標

## 進んで自分の役割を果たそう

寒い中、いつも元気に集団登校をしている南っ子にはいつも感心しています。原方面から登校する1つの班は、毎朝、列を乱すことなく並んで登校しています。あまりの列の美しさに感動するほどです。班長や副班長はもちろんのこと、班員1人1人が自分の役割を自覚して行動している証だと思います。この班は今年だけではなく、ずいぶん前から、列を乱さず歩くことが伝統になっているそうです。2月には、班長が交替します。安全な登校がずっと続くように、それぞれが役割を果たしてほしいと思います。(生徒指導主事)

